

1. インストールの前に

1-1. パッケージ内容の確認

本パッケージには以下のものが同梱されております。万一、不足のものがある場合はお手数ですが、弊社サポートセンターにご連絡ください。

<パッケージ同梱内容一覧>

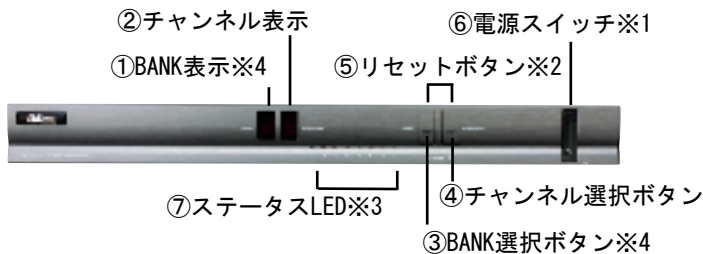
- 本体
- ACアダプタ
- ラックマウント用ブラケット・ネジセット
- ゴム足
- ユーザーズマニュアル（本紙）
- 保証書（1年間）

1-2. 対応OSと対応機種

- 対応OS
Windows XP/Me/2000/98SE/98/95/NT4.0、Linux
- 対応機種
ミニD-Sub 15ピンモニタコネクタ、PS/2キーボード・マウス・コネクタを装備したWindows PC(PC/AT互換機)
- 対応モニタ
PC/AT互換機用モニタ（ミニD-Sub 15ピンコネクタ）
VGA/SVGA/XGA/SXGA/UXGA/マルチスキャン対応
最大解像度1920x1440 @75Hz
- 対応マウスと対応キーボード
PS/2マウスおよびPS/2キーボード

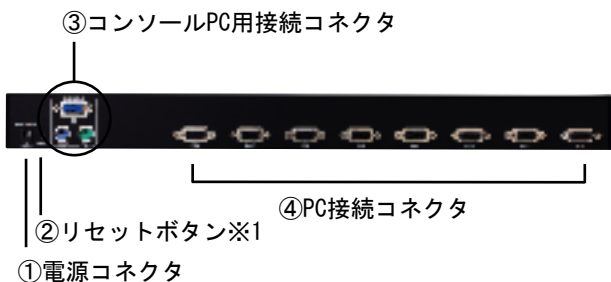
1-3. 各部の名称

【前面】（図は、REX-810Rです。REX-1610Rも基本的に同じです）



- ※1 電源スイッチは、電源ONのとき、緑色に点灯します。OFFのときは、点灯しません。
- ※2 リセットボタンは、「BANK選択ボタン」と「チャンネル選択ボタン」の両方を指します。
- ※3 ステータスLEDは、PCが接続または本製品がスター接続されている場合、赤色に点灯します。また、接続されたPCあるいは本製品が選択状態にあるとき、緑色に点灯します。
- ※4 どのKVMかを表示・選択します。単体で使用する場合は、BANK番号は「0」を指定します。スター接続する場合は、マスタのBANK番号は「0」、スレーブ接続されたKVMのBANK番号は、マスタKVMに接続されたポートの番号になります。そのポートの番号(BANK番号)がスレーブ接続されたKVMのBANK表示パネルに表示されます。スレーブのKVMも「マスタ」KVMのBANK選択ボタンから指定します。

【背面】（図は、REX-810Rです。REX-1610Rも基本的に同じです）



※1 全面パネルの「リセットボタン」と同じ機能です。

2. 接続

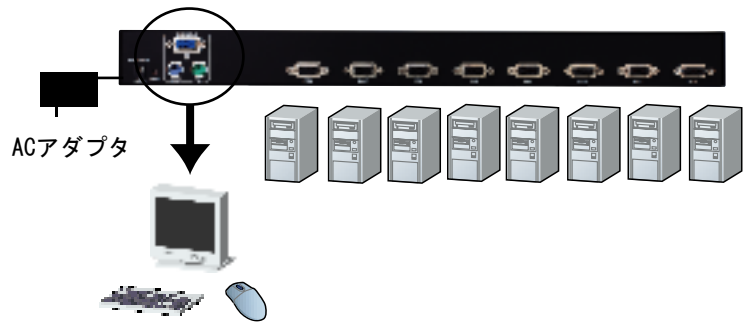
接続形態には、「単体で使用する場合」と「スター接続」して使用する場合があります。

それぞれについて説明します（図は、REX-810Rの場合です）。下記手順に従って、接続を行ってください。

【注意】

1. 本製品の運用を理由とする損失、免失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

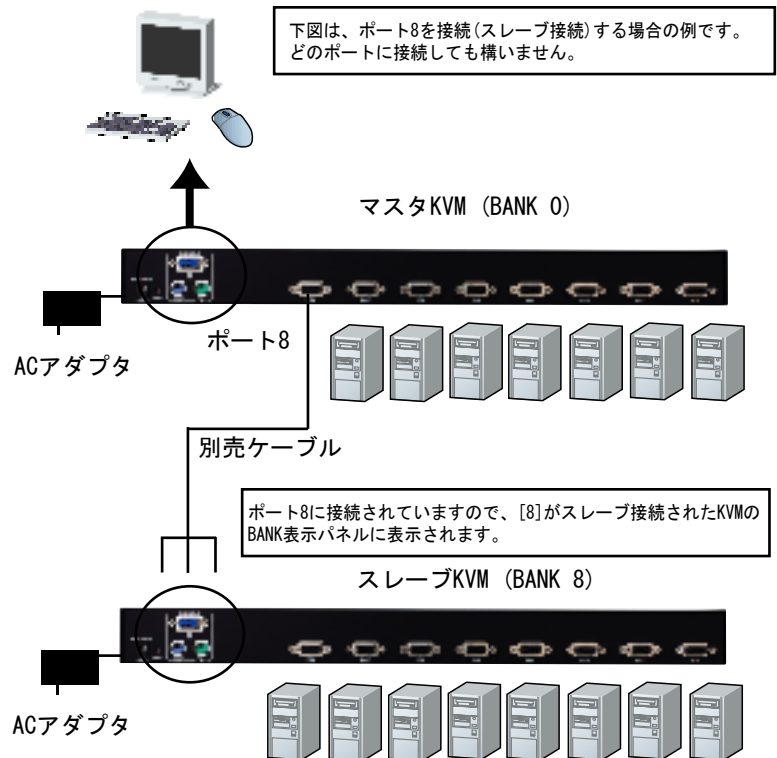
2-1. 単体で使用する場合



- (1) 接続前に、全ての機器の電源がOFFであることをご確認ください。
- (2) コンソールPC用接続コネクタに、モニター、キーボード、マウスをそれぞれ接続します。
- (3) PC接続コネクタに、別売の本製品用ケーブルでPCを接続します。
- (4) 添付のACアダプタを電源コネクタに接続します。
- (5) 本体電源スイッチをONにします。
- (6) 接続したPCの電源をONにします。

2-2. スター接続して使用する場合

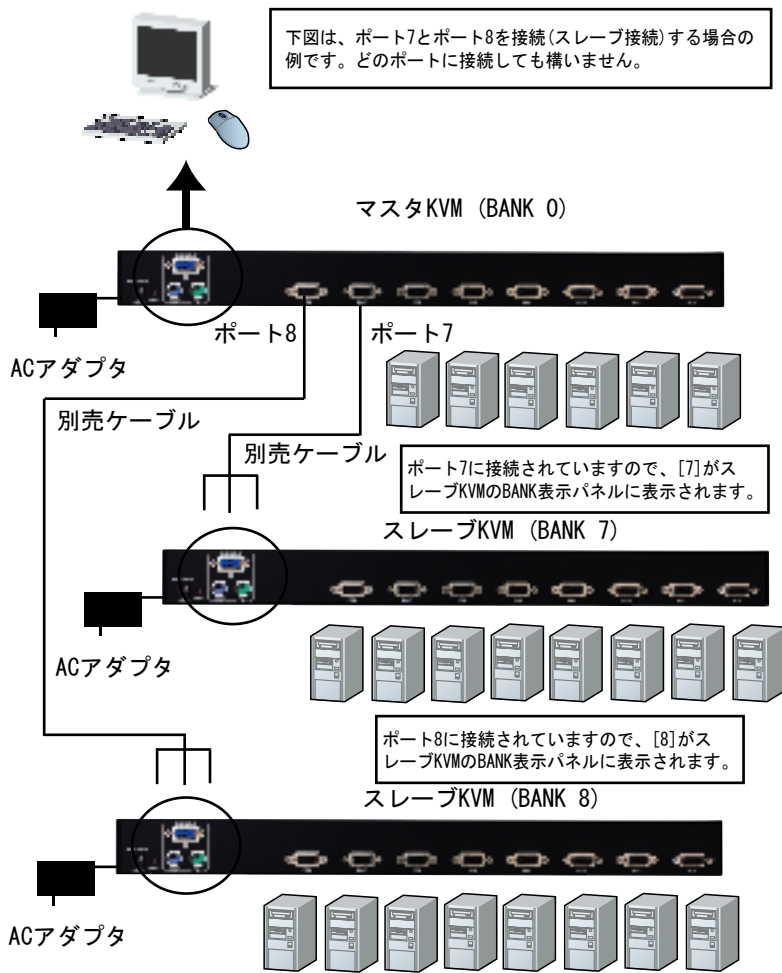
その1:2台を接続して使用する場合



下図は、ポート8を接続（スレーブ接続）する場合の例です。どのポートに接続しても構いません。

ポート8に接続されていますので、[8]がスレーブ接続されたKVMのBANK表示パネルに表示されます。

その2:3台を接続して使用する場合



「初めてスター接続する場合の手順」と「KVMを追加接続する場合の手順」は手順が異なりますので、該当の箇所をご覧ください。

1. 初めてスター接続する場合の手順

初めてスター接続する場合は、下記の手順に従ってください。

- (1) 全てのコンピュータが電源OFFになっていることを確認してください。
- (2) 全てのKVMが電源OFFになっていることを確認してください。
- (3) マスタKVMのコンソールPC用接続コネクタに、モニター、キーボード、マウスを接続します。
- (4) 別売のケーブルで、マスタKVMのPC用接続コネクタとスレーブKVMのコンソールPC用接続コネクタを接続します。
- (5) スレーブKVMの電源をONにします。
- (6) マスタKVMの電源をONにします。
- (7) スレーブKVMのPC用接続コネクタに、別売のケーブルでPCを接続します。
- (8) 接続したPCの電源をONにします。

2. KVMを追加接続する場合の手順

すでに本製品を使用している状態から、新たにKVMを追加接続する場合は、下記の手順に従ってください。

- (1) 接続されたPCの電源とKVMの電源をONにします。
- (2) マスタKVMのPC用接続コネクタに、別売のケーブルで追加接続したいKVMを接続します。
- (3) 接続したKVMの電源をONにします。
- (4) スレーブKVMのリセットボタン(BANK選択ボタンとチャンネル選択ボタンの両方)を押します。
- (5) マスタKVMのリセットボタン(BANK選択ボタンとチャンネル選択ボタンの両方)を押します。
- (6) 追加されたKVMのPC用接続コネクタに、別売のケーブルでPCを接続します。
- (7) 接続したPCの電源をONにします。

3. 使用方法

切替操作には、次の3通りがあります。

2と3について下記に説明します。

1. フロントパネルのBANK選択ボタンとチャンネル選択ボタンを使用する(スター接続している場合は、マスタKVMのフロントパネル上で行います。例えば、BANK2のPC4に接続されたPCに切替えるには、マスタKVMのフロントパネルでBANKボタンを2、チャンネルボタンを4にします。)
2. キーボード上の [Scroll Lock] キーを使用して操作します
3. OSD画面を使用して操作します

注: 数字キーは、テンキーを使用しないでください。

2. キーボード上の [Scroll Lock] キーを使用する場合

- (1) Port Xへ切替(単体使用時)
[Scroll Lock] [Scroll Lock][X] (X=01, 02, 03...)
- (2) Bank YのPort Xへ切替(スター接続時) *
[Scroll Lock] [Scroll Lock][Y][X]
(Y=00, 01, 02...)(X=01, 02, 03...)
注: 00は、マスタKVMを意味します
- (3) 前のアクティブなPCへ切替 *
[Scroll Lock] [Scroll Lock][↑]
- (4) 次のアクティブなPCへ切替 *
[Scroll Lock] [Scroll Lock][↓]
- (5) 前のBankへ切替 *
[Scroll Lock] [Scroll Lock][Page Up]
- (6) 次のBankへ切替 *
[Scroll Lock] [Scroll Lock][Page Down]
- (7) OSD(On Screen Display)表示 *
[Scroll Lock] [Scroll Lock][スペースキー]
OSD機能とは、画面のメニュー操作で、同様の設定を行う画面です。この場合は、3へお進みください。

(8) OSD 表示時間変更

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [D] [n]
(n: 07=07sec, 15=15sec, 30=30sec, 60=60sec)
設定時間なにも操作をしないと、OSD表示が消えます。

(9) オートスキャンモード *

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [0] (アルファベットの0)
中止するには、フロントパネルのどれかキーを押してください。

(10) オートスキャン間隔の変更

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [n]
(n: 07=07sec, 15=15sec, 30=30sec, 60=60sec)

(11) 設定したOSD機能のリセット *

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [削除キー]
工場出荷時の設定に戻します。20秒ほどかかります。

(12) ビープ音のON/OFF

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [B]

(3) ファームウェア情報 (FIRMWARE INFORMATION選択時)



4. 仕様

コンソールコネクタ * モニター: ミニD-Sub15ピン
キーボード: PS/2, マウス: PS/2

PC コネクタ * ミニD-Sub15ピン

解像度(Max.) 1920 x 1440 @75Hz

バンド幅 * 200MHz

接続形態 * スター型
-REX-810R, 1610R混在可
-最大17台のKVMをスター接続可 (REX-1610R使用時)
最大接続PC <単体使用時>

REX-810R: 8台まで
REX-1610R: 16台まで

<接続時> 256台まで (REX-1610R x 17台)

ステータス LED 赤: 接続状態, 緑: 選択状態

切替方法 * OSD (On Screen Display), ホットキー, 切替ボタン

オートスキャン間隔 * 7/15/30/60 sec

OSD 表示時間 * 7/15/30/60 sec

電源 * DC 9V 600mA

消費電力 * 5.4W

動作環境 * 0 to 40 °C

保存環境 * -20 to 60 °C

湿度 * 0 to 80 % (結露なきこと)

MTBF 15000 時間

外形寸法 * 440 (W) * 185 (D) * 44 (H) mm

重量 * 3.9kg (REX-810R)

5.3kg (REX-1610R)

筐体 * メタル (フロントカバー: ABS樹脂)

3. OSD画面を使用して操作する場合

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [スペースキー] で下の画面が表示されます。[↑/↓矢印] で上下に移動させ、[ENTER] で切替えたいPCあるいはKVMを選択すると切替わります。



[Home] マスタKVM (BANK 0) が選択されます。
[↑/↓矢印] 上下に移動します。
[Page Up] [Page Down] 前の画面へ移動/次の画面へ移動
[ENTER] 選択
[Insert] コンピュータ名の変更
[Esc] Exit
[スペース] [スペース] 下の [Administration Screen] の表示



[Administration Screen] では、下記の設定 (1) (2) (3) が可能

(1) オートスキャン間隔の変更 (CHANGE SCAN TIME選択時)
7/15/30/60秒から設定可能



(2) OSD 表示時間変更 (CHANGE DISPLAY TIME選択時)
7/15/30/60秒から設定可能



5. オプション品

オプション品のご注文は、(株)アール・ピー・エスにて承ります。
FAX 06-6633-8295

オンラインによるご注文も受け付けております。
<http://rps.ratocsystems.com/>

- RCL-RP31-18 (REX-810R/REX-1610R用 KVMケーブル 1.8m)
- RCL-RP31-30 (REX-810R/REX-1610R用 KVMケーブル 3.0m)
- RCL-RP31-48 (REX-810R/REX-1610R用 KVMケーブル 4.8m)
- RSO-AC09-13 (REX-x10R用 ACアダプタ 9V 1.3A)

6. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問合せください。なお、ご質問に対する回答は、下記営業時間内となりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては、弊社でのテスト・チェック等の関係上、回答までに時間を要する場合もございますので、予めご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL 大阪:06-6633-0190
東京:03-3837-3010

FAX 06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日および弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
ご質問もここから入力できます。
<http://www.ratocsystems.com/>

7. ユーザー登録

ユーザー登録は、下記URLより行うことができます。
<https://regist.ratocsystems.com/>
(オンラインで登録頂いた場合、添付のハガキを送付して頂く必要はありません)

8. 制限事項

- ノートパソコンではBIOSやハードウェアの制限により使用できない場合があります。
- NEC PC-9821シリーズには対応していません。
- Macintoshではキーボード仕様の違いによりご使用いただけません。
- Linuxでご使用の場合、カーネルのバージョンやディストリビューションの仕様により、使用できない場合があります。また、PC-UNIXのみ対応です。
- 84キーボード、AT規格キーボードではご使用いただけません。
- PS/2変換したシリアルマウスはご使用いただけません。
- 特定のパソコンやアプリケーションに依存するキーボード(ワンタッチボタンなど)や特別な機能をもったマウスは、正常に動作しない場合があります。
- キーボードパワーオン機能はPCのBIOS、OSの仕様や設定により使用できない場合があります。
- ワンタッチボタンによるレジューム・サスペンド機能はご使用いただけません。
- マウスの専用ドライバやユーティリティ等は、ご使用いただけません。
- 切替中は、テンキーは使用不可となります。



【電波障害自主規制について】

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご注意

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がございましたらご連絡下さいませようお願い致します。
- 運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守およびサポートは行っておりません。
- 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- Windows、Microsoftは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本製品および本マニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし本文中にはRおよびTMマークは明記しておりません。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により本商標の使用を認められています。

安全にお使い頂くために

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、人が負傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害が想定される内容を示しています。

警告

- 製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることは行わないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。

注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びたものの近くでの保管は避けてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、いかなる責任も負いかねます。